

霧島山

概 況

新燃岳、御鉢ともに火山性地震は少なく、火山性微動はありませんでした。噴煙は見られず、火山活動は低調に推移しました。

噴煙活動の状況

噴煙は見られず、表面現象に大きな変化はありませんでした。

地震・微動活動の状況

新燃岳では火山性地震の少ない状態が継続しました。気象台震動観測点 A 点(新燃岳火口の南西 1.7km)で観測した地震回数は 37 回(9 月 : 89 回)でした(図 1)。

また、御鉢でも火山性地震は少なく、東京大学高千穂西観測点(御鉢火口の西 1.1km)で観測した御鉢火口付近の地震は 4 回(9 月 : 4 回)でした(図 1)。

新燃岳、御鉢ともに火山性微動はありませんでした(図 1)。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした(図 2)。

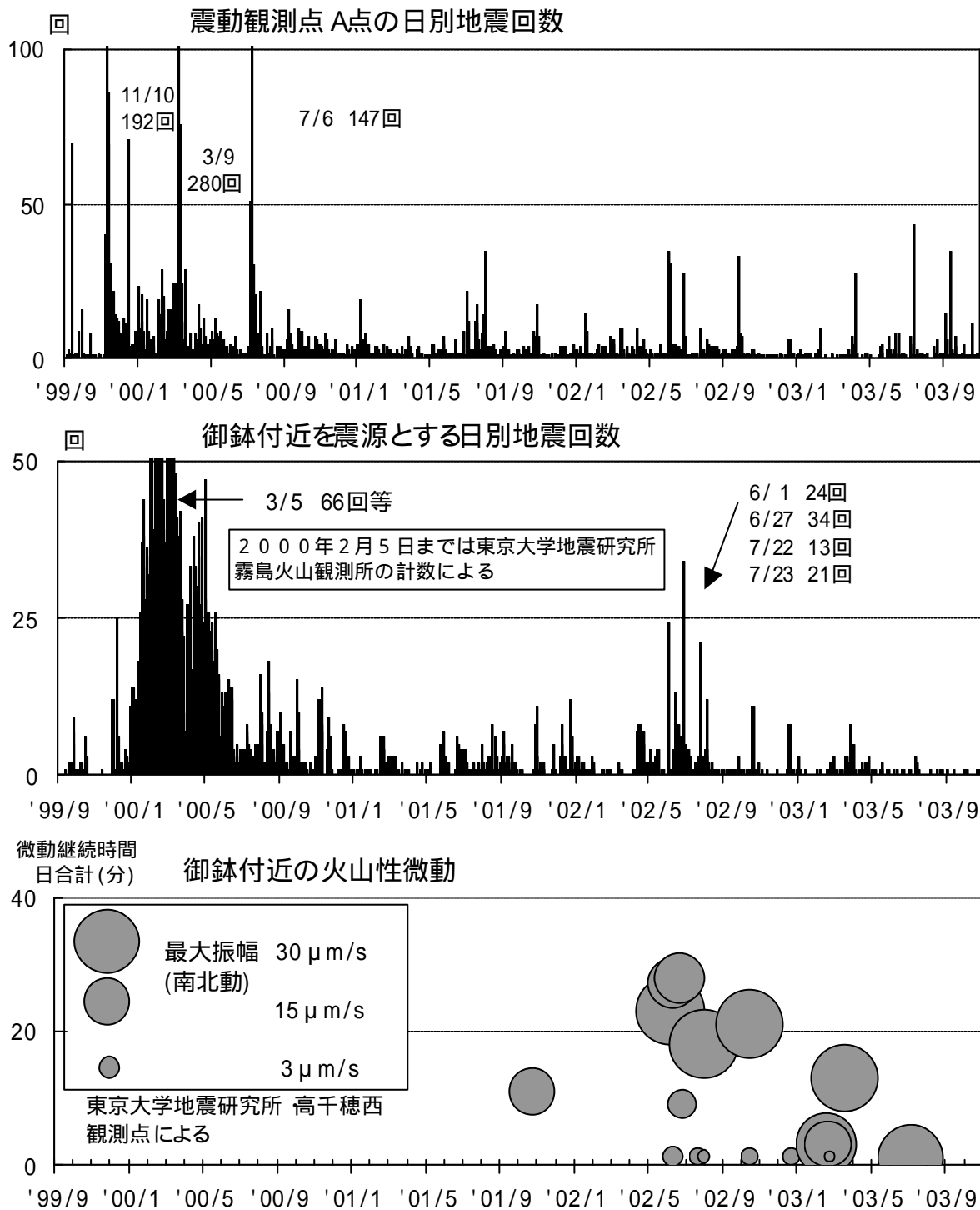


図1 火山活動経過図(1999年9月~2003年10月)

- ・ 御鉢付近の火山性微動は今年7月12日を最後に発生していない。
- ・ 新燃岳、御鉢ともに火山性地震の発生は少ない。

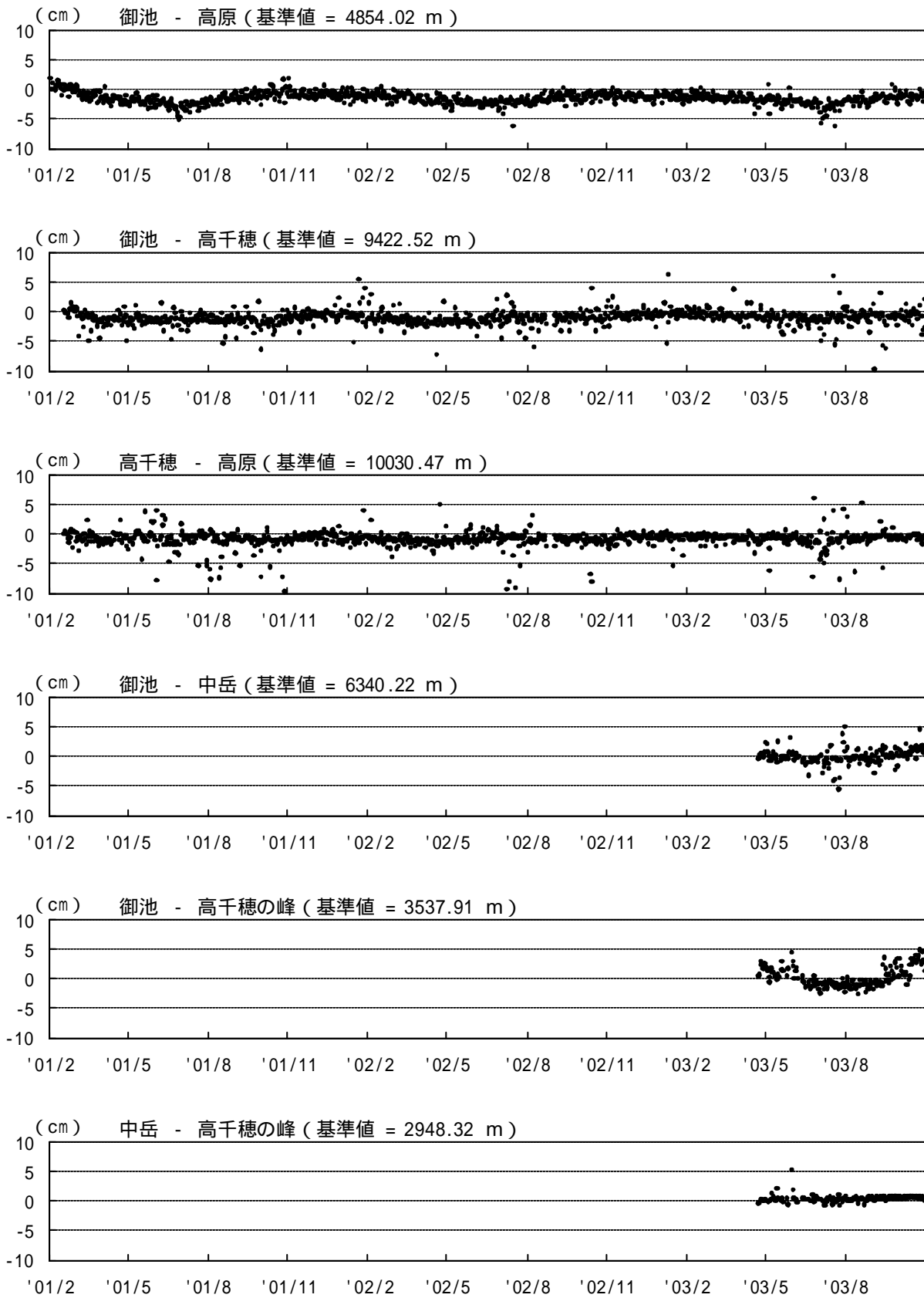


図2 GPSによる基線長変化 は2001年2月2日から、 と は2001年2月19日から、
、 は2003年4月24日から、それぞれ2003年10月31日までの基線長変化を示した。

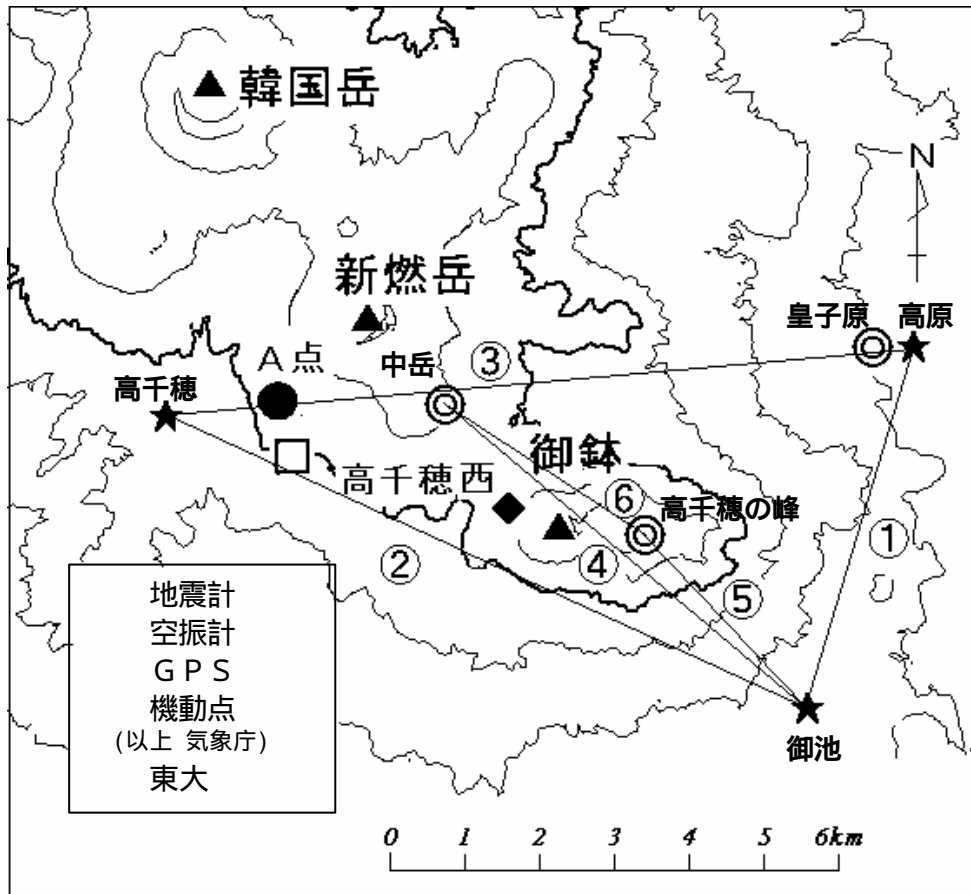


図3 火山観測点位置図